

# 第1回試行的研修アンケート結果

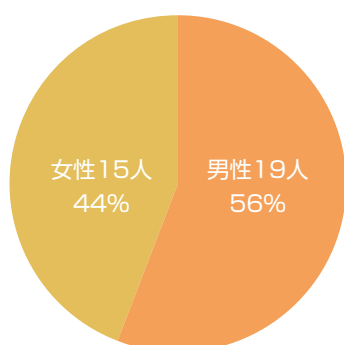
## 1. アンケートの概要

東京農工大学先端産学連携研究推進センターが2014年11月18日に実施した「中・上級研究マネジメント人材養成プログラム 第1回試行的研修」では、参加者に対しアンケートを実施した。参加者36人のうち途中退席した2人を除く34人全員から回答を得た。回答は無記名で、所属の記載もない。

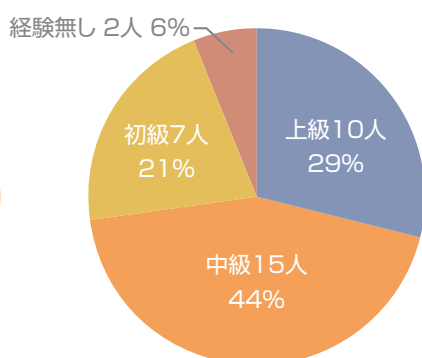
## 2. アンケート回答者数と属性

### I. 属性について

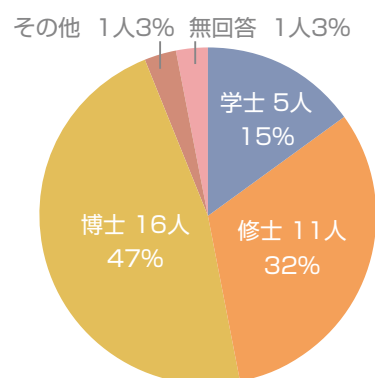
参加者の性別 (回答34人)



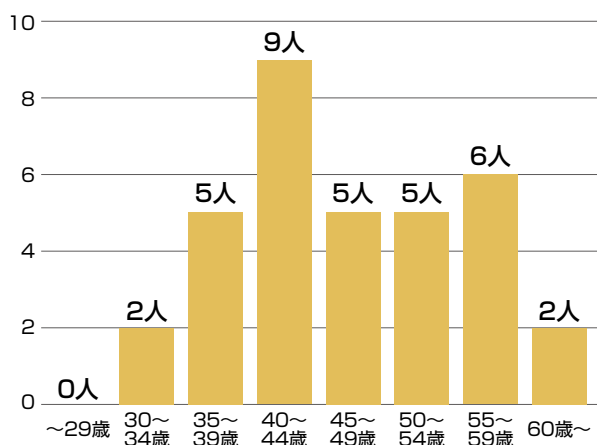
URAの業務経験 (回答34人)



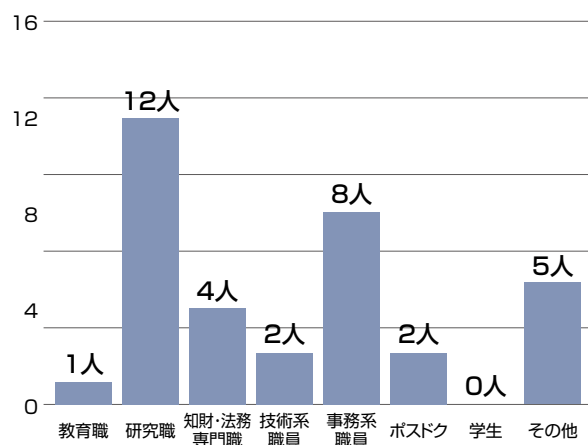
最終学位 (回答34人)



参加者の年齢 (回答34人)



参加者の前職 (回答34人)

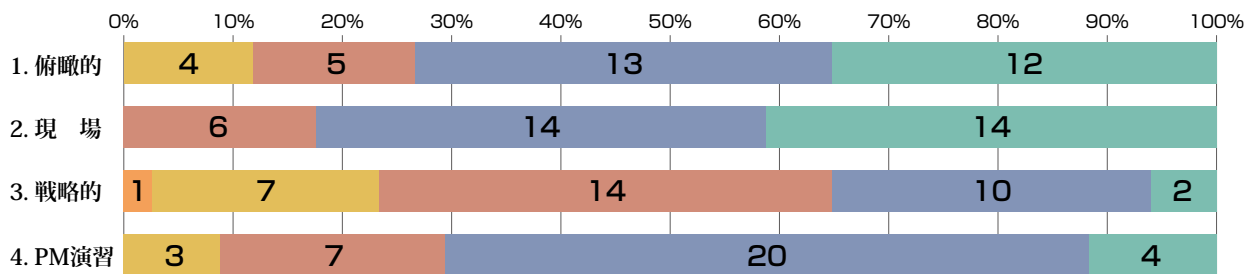


## II. 本セッションの内容について

### セッション内容の満足度（回答34人）

5段階で評価してください。該当する数字に○をつけてください。

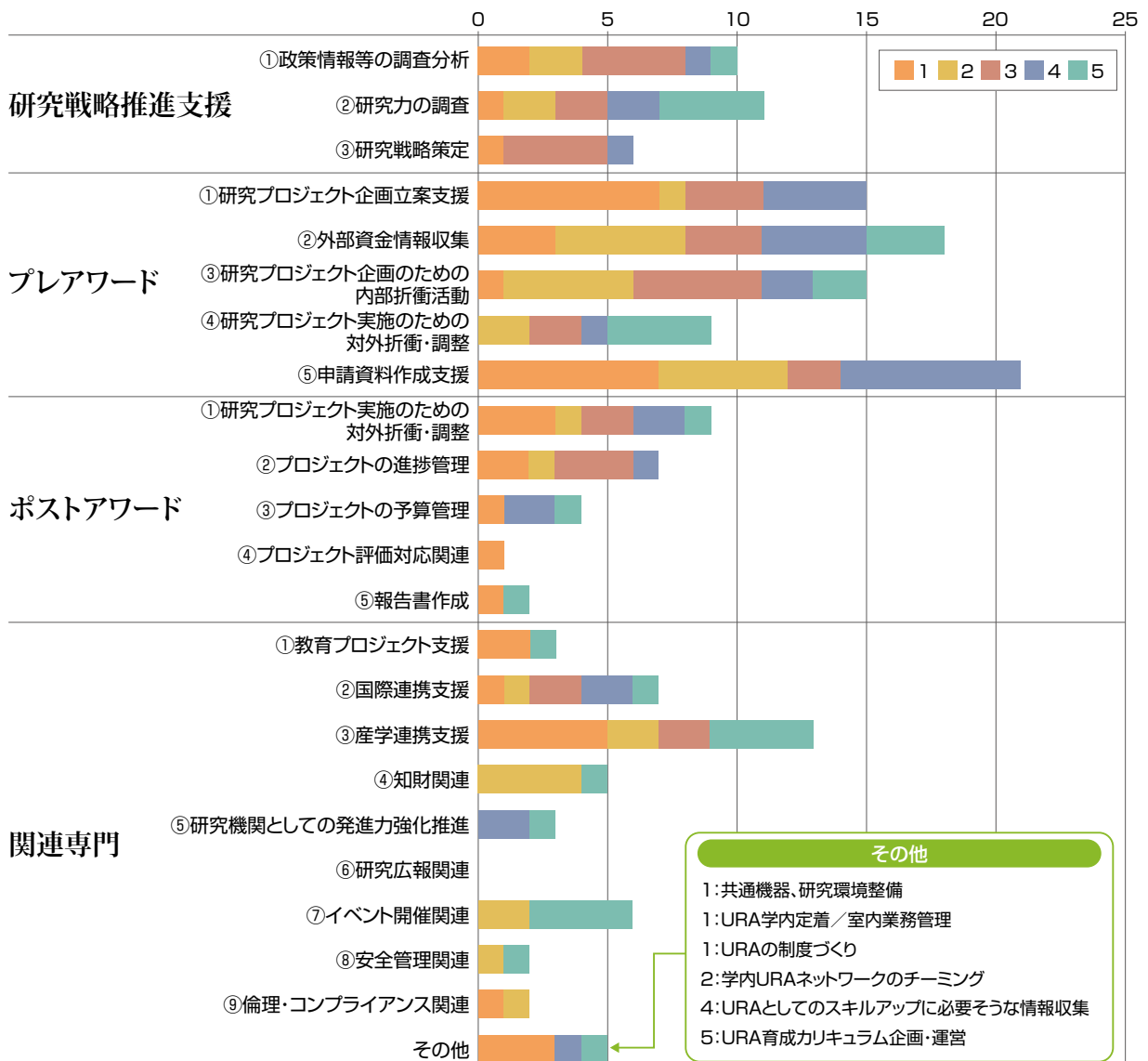
役立つ・参考になる 1 2 3 4 5 なかった



## III. 皆様のスキルと希望について

Q1：現在担当している業務でエフォートの大きい順に、5つご記入ください。

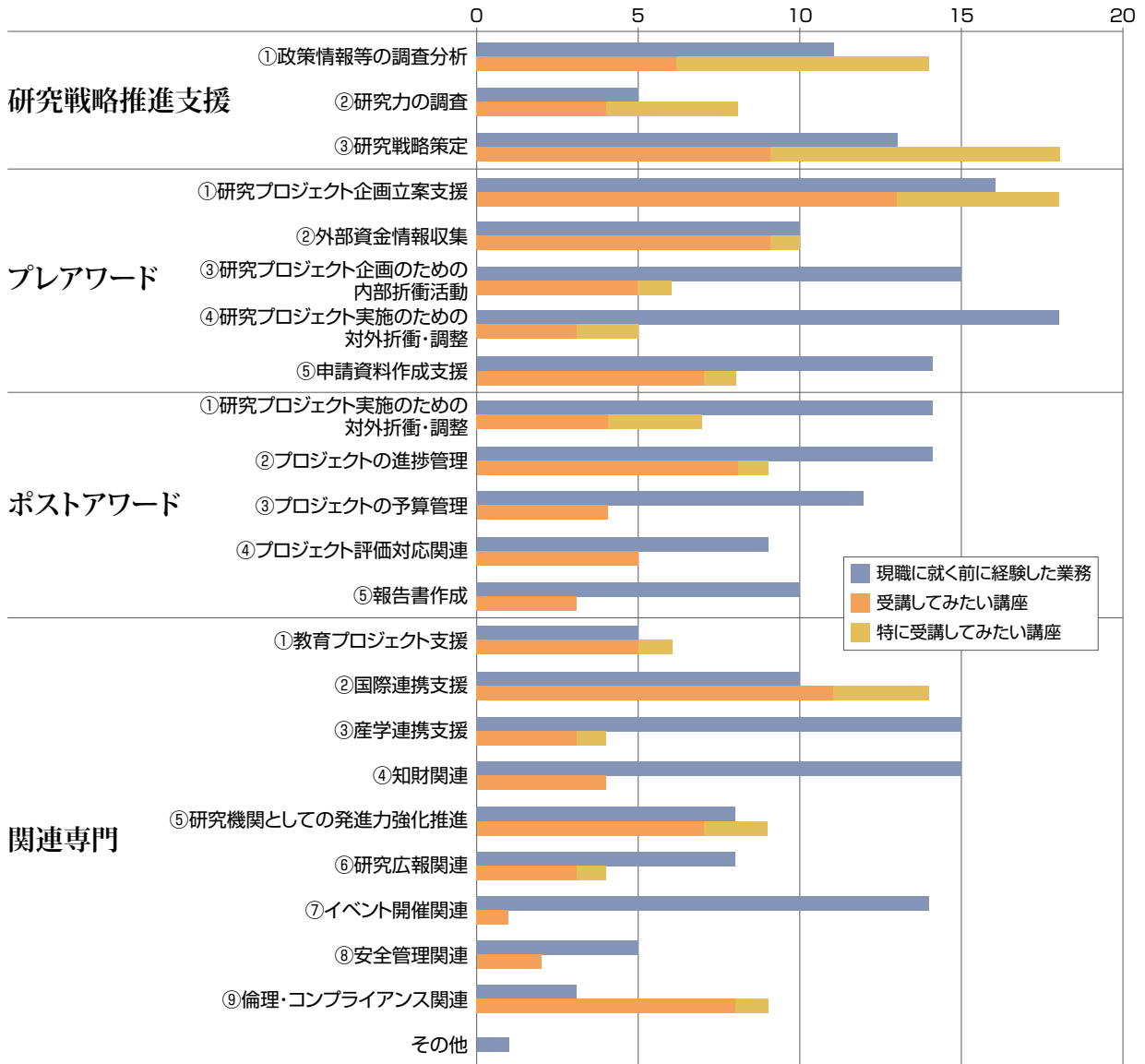
### 現在担当している業務のエフォート順1～5位（回答34人）



Q2:現在の職に就く前に経験した業務があれば、該当業務をご記入ください。

Q3:今後、教育講座(講義・演習)等あった場合に受講したい業務があれば、特に受講したい業務、受講したい業務をご記入ください。(Q2、Q3とも複数回答可)

### 経験業務&受講したい業務 (回答34人)



### IV. 自由記述

- ・演習が非常に有意義だった。グループのメンバーも非常にバランスよく構成されていたように思う。
- ・ファシリテーター、講師、受講生とのディスカッションが興味深かったので、もっと時間が欲しかった。
- ・中級～上級対象として、人材育成や組織の話が含まれていたのは良かったと思います。
- ・活発な発言(特に午前中)がとても興味深かったです。それぞれの所属機関によって事情がさまざまということがよくわかりました。
- ・異分野融合の進め方について事例などを伺いたい。
- ・池田先生のお話は、URAとして生きるにあたり、オアシスのように心に沁みわたります。こういう視点のお話は必須だと思います。

- ・MBA研修のようなケーススタディの必要性は感じた。そういったケースがいくつか作られるよう成功事例、失敗事例は共有される仕組みがほしい。失敗も時代を経れば成功にかわる可能性もあると思う。
- ・研究支援の評価指導は数値のみでは評価できないので、画期的な評価項目(アンケートなど)も必要だと考えております。
- ・演習(25分×2回)→座学という流れではなく、演習(25分)→座学→演習(25分)のように、受講前後にGroup Workがあると参加者の考え方のシフトなどを実感できると思う。
- ・全体として目標が不明確な印象がした。いきなり演習から入るのはどうかと思った。少し導入をした方がよいと考える。